短期予報解説資料　２０２６年１１月３日１５時４０分発表

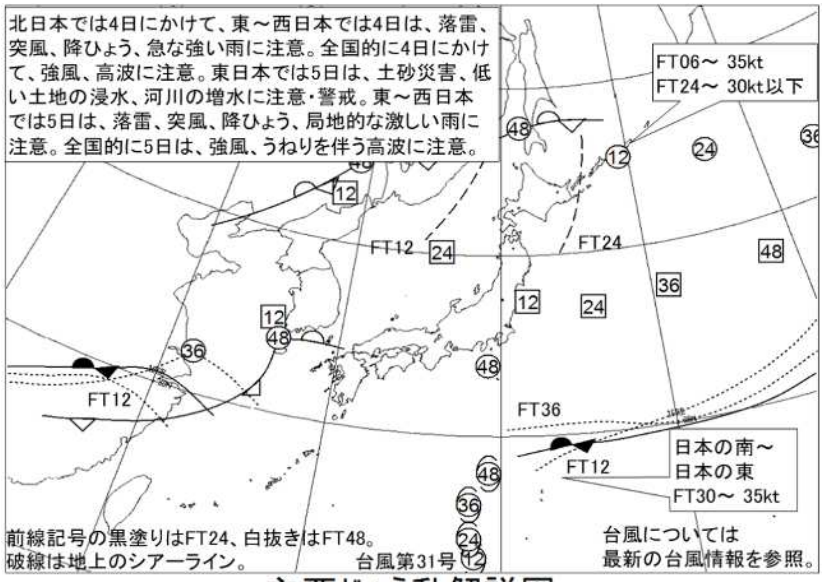
気象庁

１．実況上の着目点

① 500hPa 5400m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフに対応した低気圧がオホーツク海を東進。

② 黄海の高気圧が東北東へ移動。①の低気圧との間で気圧の傾きが急となり、北海道地方では10m/s前後の風を観測。

③ 台風第31号が日本の南を西進。台風を波源とするうねりの影響で、小笠原諸島では、しけている所がある。



主要じょう乱解説図

２．主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は4日朝にかけて千島の東へ進み、日本から遠ざかる。1項②の高気圧は3日夜にかけて朝鮮半島付近へ移動し、その後、不明瞭化する。3日夜までに、本州付近で高気圧が発生し、5日朝にかけて日本のはるか東へ移動する。1項③の台風は、4日にかけて日本の南を北上し、その後、5日にかけて進路を北東寄りに変えて小笠原諸島に接近する可能性がある。500hPa 5400m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフが3日夜までに日本海北部へ進み、これに対応したシアーラインが発生する。トラフは4日朝にかけて千島近海へ進み、シアーラインは北日本を通過する。シアーラインに向かう下層暖湿気、上空の寒気、日本の東へ移動する高気圧の後面や台風周辺から流れ込む下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。北日本では4日にかけて、東～西日本では4日は、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨に注意。本州付近の高気圧の縁辺で気圧の傾きが急となり、強い風が吹き、波が高くなる所やしける所がある。全国的に4日にかけて、強風、高波に注意。シアーラインの通過時に下層寒気が強まる。北日本では4日にかけて、着雪に注意。

② 3日夜までに華中で前線が発生し、5日朝にかけて対馬海峡付近までのびる。4日夜までに、東シナ海では前線上に低気圧が発生し、5日朝にかけてチェジュ島付近へ進む。前線は西日本付近までのびるが、前線上の低気圧は次第に不明瞭化する。5日朝までに伊豆諸島付近で低気圧が発生し、前線を伴い発達しながら三陸沖へ進む。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。東日本では5日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、警報級の大雨となる地域が拡大する可能性に留意。東～西日本では5日は、落雷、突風、降ひょう、局地的な激しい雨に注意し、竜巻などの激しい突風となる可能性にも留意。5日は日本海北部で低気圧が発生し東北東進する。低気圧や前線近傍で気圧の傾きが急となり、強い風が吹き、台風第31号を波源とするうねりの影響も加わり、波が高くなる所やしける所がある。全国的に5日は、強風、うねりを伴う高波に注意。

３．数値予報資料解釈上の留意点　総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

４．防災関連事項［量的予報等］　① 雨量(18時からの24時間)：多い所（100mm以上）はない。

② 波浪(明日まで)：伊豆諸島5、北海道・関東・東海・近畿・四国・奄美・沖縄3m。

５．全般気象解説情報発表の有無　発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。